

平成25年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」第4回「緑の役割を知ろう！」

(テーマ: ヒートアイランド)

□実施日時 平成25年8月9日(金) 9時45分～16時15分

□受講者数 8名

□実施場所 東京都環境科学研究所 第2中会議室

□実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局(研究所)から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局環境政策課(企画調整係 樋口主任)より開講挨拶等
- ・研修受講者から一人ずつ簡単な自己紹介

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

(担当: 東京都環境科学研究所 調査研究科 横山仁 副参事研究員)

「都市のヒートアイランド現象と緑の役割」と題して、東京のヒートアイランド現象の実態と原因、校庭芝生化の効果等について、研究成果を基にパワーポイントを用いた講義と質疑応答を行った。

その後、自動車排ガス研究棟屋上にある屋上緑化施設を見学し、説明、質疑応答を行った。

【午後】

3. 環境学習プログラム「緑の役割を知ろう！」の紹介及び実習

(担当: 特定非営利活動法人 環境学習研究会 谷村春樹理事長)

(1) 「環境学習の意義について」及び「緑の役割を知ろう！」模擬授業

導入として、子どもの健全な成長には、理性と感性の両方をバランス良く伸ばしていく必要があること、特に現代では、日常生活において実感を伴う様々な「体験」が不足していること、それゆえに学校において「体験」を伴う学習(この場合は環境学習)の必要性が増してきたこと、学校においては教科学習を基礎に、教科学習と関連させて環境学習を実施することが大切であること等の説明があった。

次に、「緑の力はすごい」という子どもを対象としたパワーポイントを用いて、木々や緑がもたらす様々な効果について、子どもへ説明する視点から、説明及び着眼点等についての解説を行った。

模擬授業としては、まず、ヒートアイランドの現象、原因と緑の役割について、パワーポイントを用いて、子どもが興味を持ちやすいようクイズ形式なども取り入れた内容の授業例や、環境学習プログラムの概要説明、まちの温度調べの方法説明等

を行った。

その後、研究所の敷地内(前庭等)において、条件が異なるいくつかのポイントで実際に温度の計測を行い、日なたと日陰、アスファルトと土の地面、コンクリート壁と木の幹及び植え込みの中、エアコンの室外機近くと離れた場所、などそれぞれ対照的な特徴を持つ2地点では温度が異なること、また実際にどれだけ温度が違うかなどを確認した。

会議室に戻り、実測で確認したように対照的な2地点で温度が異なるのはなぜか、その原因として考えられることや、環境に配慮した暮らしやすいまちにするために自分たちの生活でできることはどんなことかなどを考えるまとめを行った。

(2) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者で情報を共有した。

4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

（提出後解散）

【研修の様子】



